



秋が深まってきました。間もなく冬の足音も聞こえてきます。今月は 23 日に勤労感謝の日があります。農業、漁業、畜産業などにかかわっている人や配送をしたり食事をつくったりする人たちなど、いろいろな人たちのおかげで、毎日食事をすることができます。こうした方たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

給食にはこんな人たちが かかわっています!!

わたしたちが毎日食べている給食には、調理員さんをはじめ、農家の人、畜産にたずさわる人、漁師さんや水産業にたずさわる人、食材を運んできてくれる運搬業の人など、たくさんの人の手がかかわっています。そして、わたしたちの元へと給食が届けられているのです。感謝の気持ちを持って給食をいただきますよう。



食事の あいさつ



「いただきます」「ごちそうさま」

食べ物を食べるということは、動植物の命をいただくことにもつながります。その食べ物をいただくことや、料理をしてくれた人に感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを忘れないようにしましょう。

給食にも使っています!

学校給食では、地場産物の活用の促進が図られています。また、こうした地場産物を使った各地の郷土料理や伝統料理が献立に積極的に導入されています。



とりたい ビタミンD!! これからの季節に

ビタミンDは、カルシウムの吸収を良くし、骨の成長を助けます。人間は日光を浴びることで、皮膚でビタミンDを作ることができますが、日が短くなるこれからの季節は食べ物から意識してとりましょう。

